

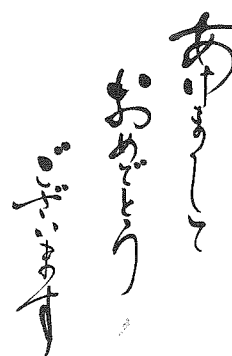
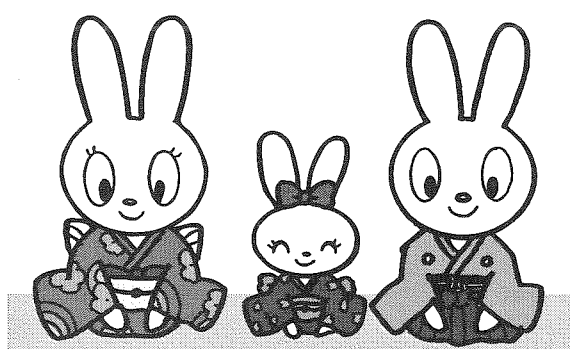
栄養やまなし No. 92

社団法人 山梨県栄養士会 〒400-0031 甲府市丸の内一丁目10-5 ☎055-222-8593

平成23年1月

1・2・3月の行事予定

- 1月30日(日) 栄養管理研修会『「日本人の食事摂取基準」の正しい理解と活用方法」
「療養型医療福祉施策における食事摂取基準の活用の実践」
- 2月5日(土) 栄養士研究発表会・「野菜と植物性乳酸菌セミナー」
- 2月26日(土) 生涯学習研修会(最終回) 山梨学院短期大学



目

次

新年のご挨拶

- 会長 田草川憲男 2

案 内

- 第25回管理栄養士国家試験について 3
- 平成22年度「もっと知りたい『野菜と植物性乳酸菌』
セミナー」開催要領 3
- 生涯学習研修会 3
- 平成22年度(第21回)研究発表会
(山梨県ミニ栄養改善学会)要旨 4

平成22年 写真で見る栄養士会の主な活動 5~6

ニュース

- 平成22年度全国地域活動協議会 7
- 関東甲信越地区各県行政担当者・
各県栄養士会長及び連盟支部長合同会議の開催 7
- 出前栄養栄養相談(児童館食育事業) 8
- いきいき山梨ねりんピック2010での栄養相談の取り組み 8
- 世界保健デー記念「栄養相談・食生活相談」事業への参加 8
- 県民の日のイベントに参加して 9
- 歯科保健のつどいに参加して 10
- 「市町村管理栄養士設置に関する陳情」を
実施しました 10

- 今年の抱負：卯年生まれの会員に聞く 11~12
- その他の寅年生まれの方々 12

会員から会員へ

- 学校健康教育部会 13
- 福祉部会 13
- 厚生労働大臣表彰 14
- 知事表彰 15
- トピックス
- 海外で活躍している会員 16

職域部会のコーナー

- 学校健康教育部会 17
- 研究教育部会 17
- 集団健康管理部会 18
- 行政部会 18
- 地域活動部会 18
- 病院部会 19
- 福祉部会 20

- 平成22年度 理事業務分担表並びに委員会名簿 21
- 謹賀新年：賛助会員一同(名簿掲載) 22~23

おしらせ

- 連盟会費の納入先が変わります 23
- 事務局の年末・年始について 23
- 編集後記 23

新年のご挨拶

今 栄養士会はなにをしているか
～管理栄養士・栄養士のスキルアップと社会貢献～

社団法人 山梨県栄養士会 会長 田草川 憲男

管理栄養士・栄養士という、資格を持って集まった栄養士会に、決して安くはない会費を出しあって組織している栄養士会は、どんなことをしているのでしょうか。そのことを、話したいと思います。

管理栄養士・栄養士は、栄養や食事を通して人々を健康で幸せにできる知識や技術を有し、その実践活動を職業として社会に貢献するために、道徳的規範に基づいた職業倫理を順守して行動することを使命としています。

私たちは専門職であるがゆえに、決して不正に使用しないし、常に真実を述べることを誓っています。ここです。言う、真実を述べると言うことは、単に嘘をつかないということではなく、最新の科学的なエビデンスに基づいた真実を言うということです。

そのためには、全管理栄養士・栄養士が常にスキルアップできる機会を提供する必要があります。これが、栄養士会の一つの役割だと思っています。

スキルアップのために

- ・職域部会別、保健所単位支部別研修会等の開催
各役員さん方が協議し開催しています。

- ・生涯学習研修会

毎回、著名な講師をお招きし また、シンポジウムでの他職域や他職種の方々との事例紹介・資料提供や交流をとおして、スキルアップする管理栄養士・栄養士にこうひょうです。全員のの方の受講を希望します。この事業は、各職域部会から選出された生涯学習検討委員が研修内容の検討や当日の運営を行っています。

- ・栄養士研究発表会

各職域から日常業務の成果や研究成果を紹介し、業務の参考とする機会として、今年で 回目の開催となります。

- ・日本栄養士会等からの助成による研修会

様々なテーマを設定して開催しています。今年は「野菜を食べよう」がテーマです。

- ・管理栄養士・栄養士、職場との各種相談の対応：事務局等が対応

社会貢献のために

- ・ねんりんピック・県民の日・県民歯科保健のつどい等における県民への「栄養相談」：各職域部会の協力、歯の衛生週間等における「栄養相談」：各保健所単位支部の開催

- ・電話「栄養なんでも相談」：栄養士会事務所において実施

- ・「栄養・食生活情報」の提供（市町村広報紙用並びに本会ホームページ）：職域部会から推薦された編集委員が年3回原稿の提供と編集委員会を開催している。

- ・ホームページによる各種情報の提供

特に、「山梨の郷土食」欄の情報量は全国一と自負しています。

ところで、皆さんは何を望んでいますか。

「もっと栄養指導がしたい」、「もっと病棟で栄養管理をしたい」、「NSTに参加したい」、「管理栄養士になりたい」等、多くの夢があると思います。皆さんが、そのためにひたむきに努力することは大切なことです。しかし、それだけでは、夢は単なる夢で終わります。なぜなら、我々の仕事は、日々変化し、しかも、各種の制かし、それだけでは、夢は単なる夢で終わります。なぜなら、我々の仕事は、日々変化し、しかも、各種の制度や法律で規定されて、時にはその仕組みや内容を自分たちの力で改善しないと実現できないことがあるからです。制度や法律の改正には、私たちの思いを各種の団体や学会、さらに政治の場に、結集した大きな力として届ける必要があります。また、自分の知識や技術を向上させるにも、一人で学ぶのではなく、同じ仲間と一緒に取り組んだほうが確実で、効果的です。

今 一人前の職能団体として活動するために、役員一同で、公益法人になるための努力もしています。

管理栄養士・栄養士の業務や活動を更に充実させるために、あなたの力が必要です。

（日本栄養士会ホームページ「会長からのメッセージ」を一部引用）

案内

* 第25回管理栄養士国家試験について *

試験日 平成23年3月20日（日）

願書受付期間 平成23年1月7日～1月14日

厚生労働省より受験要領・願書が山梨県栄養士会事務

局に届いています。

必要な方は郵送料として切手200円を同封して山梨県栄養士会に申し込んでください。希望者に郵送いたします。

☆管理栄養士資格取得後は栄養士会に 資格変更のご連絡をお願いします。会員証の資格欄を変更いたします。

平成22年度「もっと知りたい『野菜と植物性乳酸菌』セミナー」開催要領

1 趣 旨

近年、急速な人口の高齢化や生活習慣病の変化により、疾病全体に占める生活習慣病が増加し、国民医療費の高騰に繋がっています。

最も大切な「食生活」の分野において、「健康日本21」の中間評価では、改善が見られないばかりか、むしろ悪化している項目も多く見られます。健康づくりに欠かせない食物である「野菜」の摂取量も減少しています。

そこで本講演会では、「野菜」と「乳酸菌」がもつ栄養や生理機能、効果的な摂取方法などの最新情報を通じて、健康づくりに関する知識を学ぶ機会を提供し、今後の食生活・栄養指導等に役立てる事を目的とします。

2 主 催 社団法人日本栄養士会、社団法人山梨県栄養士会

3 後 援 カゴメ株式会社

4 日 時 平成23年2月5日（土）12:00～16:00

5 会 場 びゅあ総合

（山梨県男女共同参画推進センター）

甲府市朝気1-2-2

電話 055-222-8593

6 対象者 管理栄養士・栄養士

7 内 容 (1) 講義「野菜と健康」
講師 女子栄養大学 三浦 理代教授

(2) 講演「野菜を上手に摂る10の提案」

講師 カゴメ株式会社総合研究所

自然健康研究部

バイオジェニックス研究グループ

林 宏紀先生

(3) 講演「植物性乳酸菌の魅力」

講師 カゴメ株式会社総合研究所

自然健康研究部

主席研究員 理学博士 矢嶋信浩先生

(4) 商品サンプル配布

生涯学習 単位認定：1単位

生涯学習研修会

平成23年2月26日（土）

会場 山梨学院短期大学

演題 「低栄養と褥瘡の栄養管理」

講師 武庫川女子大学生活環境学部

雨 海 照 祥 教授

雨海先生の講演の内容の紹介

現場の声に伝える！

栄養管理を効果的にスキルアップ！！

臨床に携わる管理栄養士・栄養士であれば、栄養のブ口として、栄養ケア・マネジメントのスキルアップを望まない人はいないでしょう。

この度、平成23年2月26日（土）に行われる生涯学

習研修にて、臨床栄養でお馴染みの、雨海照祥先生を迎え、「低栄養と褥瘡の栄養管理」をテーマに講演していただきます。

検査データから病態を読み取る事を軸とし、低栄養・褥瘡対策に必要なアセスメントを単にエネルギー必要量、タンパク質の所用量の算定だけでなく特に褥瘡では治療過程に関わる栄養素として、亜鉛、ビタミンA・ビタミンC・ビタミンE・アルギニン等の欠乏することが、ガイドラインでうたわれている事から雨海先生から、ZACカクテルと呼んでいる亜鉛、ビタミンA、ビタミンCの混合補充療法についてのアルギニンの体内での働き必要量など解説しています。又先生は病院で栄養外来にも携わっておられます。

全国からセミナーの依頼が殺到している雨海先生ならではの栄養QOLは、目からウロコ 是非この機会をお見逃しなく！！

平成 22 年度 (第 21 回) 研究発表会 (山梨県ミニ栄養改善学会) 要旨

日 時 平成 23 年 2 月 5 日 (土) 9 時～11 時 15 分
会 場 : ぴゅあ総合 (男女共同参画推進センター)
内 容 各職域部会より研究発表 8 題

発表要旨

①学校健康教育部会

山梨県立やまびこ支援学校 山下 ますみ

演題: 本校の食に関する取り組み

食育は子どもたちが生きていく為に基盤となるものです。あらゆる食べ物の命をいただき、生きていくことの素晴らしさを子どもたちに伝えていきたいと思い、本校では様々な食に関する指導を行いました。その取り組みを報告します。

②行政部会

笛吹市役所健康づくり課 宮川 善美

演題: 笛吹市の食育の取り組み

笛吹市は、平成 21 年 3 月に食育実施計画が策定され、他課と連携を図りながら「食を通じた健康づくり」を推進している。これまでの乳幼児健診の食事の様子をまとめ、それに伴う食育の取り組みについて報告する。

③研究教育部会

山梨学院短期大学 根津 美智子

演題: 短期大学生の食事マナーに関する調査

若者の食事マナーの調査を行った。若者の食事マナーが乱れているが 8 割、箸使いに自信がないが 5 割、食事マナーを教わりたいが 9 割。幼児期に家庭で指導されているが身についていないことが多く、繰り返しの指導が重要である。

④集団健康管理部会

株式会社 NEC ライベックス 伊藤 貴子

演題: 「社員食堂が取り組む喫食者の健康管理」

NEC ライベックスでは喫食者の健康づくりをサポートするための様々な取り組みの中で、33 年間続いている「栄養展示会」は従業員の方に食・健康への関心を高めて頂く場となっている。この「栄養展示会」の取り組みを報告する。

⑤地域活動部会

地域活動部会 志村 美幸

演題: 出前栄養相談に携わって ～きっずやつしろでの取り組み～

地域活動部会では出前栄養相談を行っています。

この度はその一環として、昨年度より携わっている笛吹市内の「NPO 法人きっずやつしろ」における取り組みについて報告いたします。

⑥病院部会

あけほの医療福祉センター 土屋 都

演題: 「安全で美味しい食事の提供～嚥下食への取組～」

あけほの医療福祉センターの入所児・者等は年々高齢化・重症化傾向にあり、嚥下困難者の増加に繋がっている。個々人の嚥下能力に沿った食事形態を段階的に検討し、「嚥下食」に取組、「安全で美味しく楽しめる食事」の提供に繋がっている。

⑦病院部会

社会保険 山梨病院 櫻井 良志美

演題: 「行動療法を取り入れた糖尿病教育入院と継続指導が血糖コントロールに及ぼす効果について」

「教育入院期間中の体重減少率は -4.6% でき、退院後において血糖コントロールは良好に保たれたが、体重コントロールは徐々に増加傾向を示した事により、行動療法の継続した指導が今後の課題である。」

⑧福祉部会

国生荘 高村 安子

演題: 「嚥下の無い食事を願い」

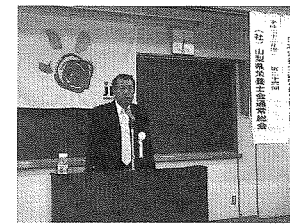
食事が心地よく摂取できる事を願い、利用者個々の状況を、水分・食事チェック表を基に、多職種の協力を得て食事作りをしている。食事・水分の摂取時又その前後に極度の嚥下で苦しむ方を経口維持組にし、容易に嚥下できるように努力している。一例を発表。

⑨山梨学院短期大学 専攻科 食物栄養専攻 向井 紗希

演題: 「女子短期大学生における運動習慣と体組成・健康状態・食習慣の関係 - 運動習慣の有無と中断・開始からの検討 -」

平成 22 年 写真で見る栄養士会の主な活動

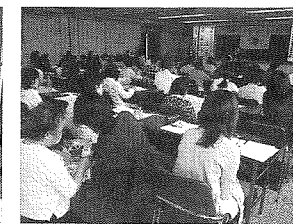
通常総会



会長挨拶



来賓: 古屋福祉保健部長ほか



議事風景



賛助会員さんからおみやげ



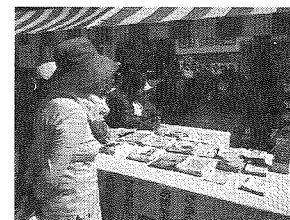
理事会



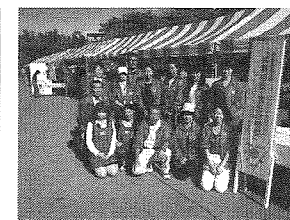
連盟幹事会



市町村栄養士配置陳情活動



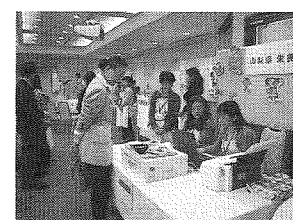
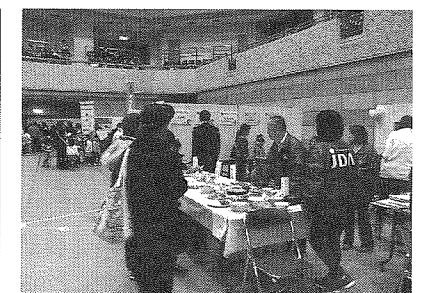
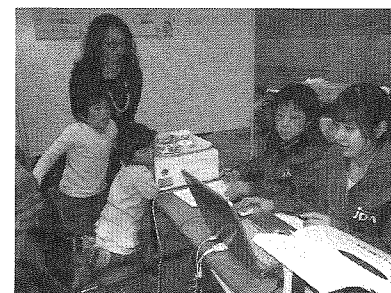
ねりんピックでの栄養相談



県民の日行事での栄養相談

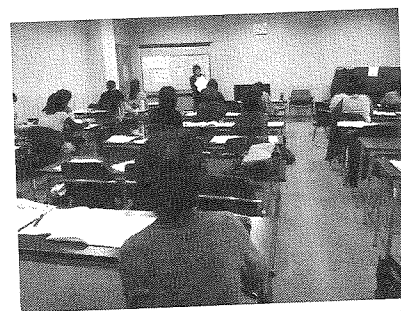
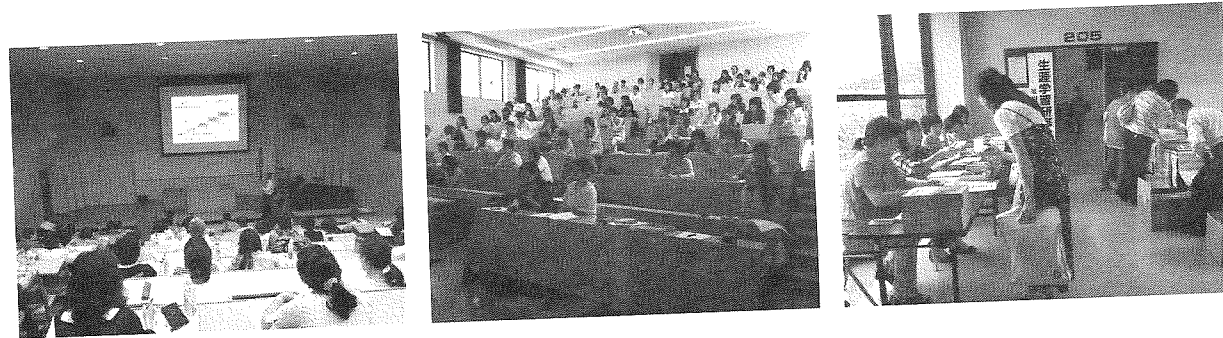
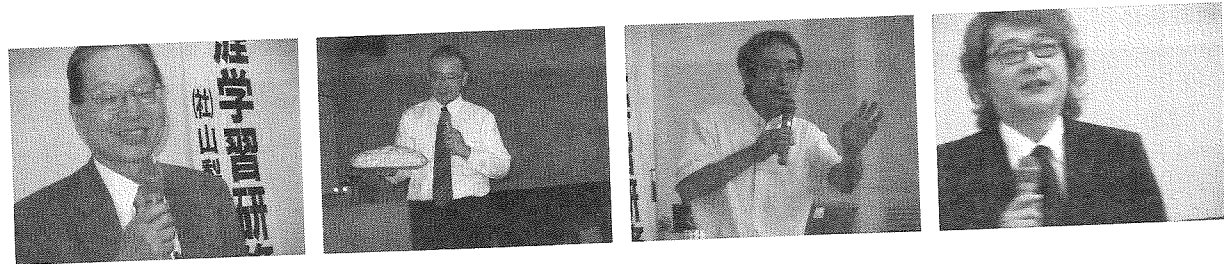


県民歯科保健のつどいでの栄養相談

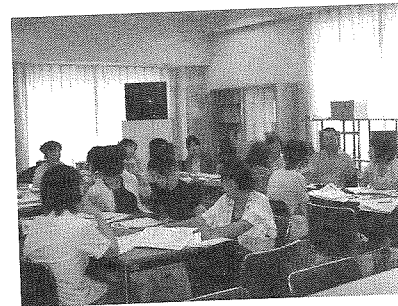


歯の衛生週間における栄養相談 (支部関係)

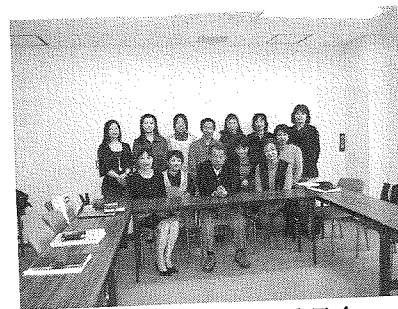
生涯学習研修会



特定保健指導研修会



健やか山梨 21「樹海ウォーク」参加



栄養・食生活編集委員会



栄養やまなし編集委員会



生涯学習委員会

ニュース

平成 22 年度全国地域活動協議会

東ブロック研修会開催を終えて

地域活動部会 立川 聖子

今年度地栄協東ブロック研修会は、北海道から三重県まで（大阪府から1名）の会員が7月30日（金）31（土）に笛吹市ホテル春日居に集い盛大に開催されました。依頼を決定してから実行委員会を立ち上げ各支部への説明会から始まり、前年度開催県への見学と会員一同知恵と体力を出し合い一年以上の時間をかけお客様を迎える準備をいたしました。

1日目は午後1時から代表者による組織強化懇談会で統一テーマにより4ブロック毎に話し合いが行なわれ、一番関心事である会員増対策についてではどの県も悩みであり「会費納入だけの交流でなく活動を通して会員との交流を深めたい」等活発な意見交換がありました。夜は地元主催の情報交換会とし、田草川県会長を交えての懇親会を催し、会員のチームワークの見せ場として精一杯甲州人としてのおもてなしの気持ちで、98名の皆様と楽しい一時を過ごしました。おみやげは郡内織物の手縫いのマイ箸入れ、パフォーマンスはピチピチピーチズによるトーンチャイムの演奏、ほうとうづくりの実演とワインのサービス、最後は全員で輪になった「よっちゃばれ踊り」とテーブルフラワーから手作りの宴で皆さんに満足していただきました。

2日目は会員の事例発表

神奈川「糖尿病クリニック開業から携った栄養指導の取り組み」

愛知「高齢者・幼児期を対象とした食育劇などの活動」
山梨「糖媒体を用いた透析患者へのアプローチ」前田英美会員（映東支部）

各々が尊い経験と研鑽の積み重ねによる立派な発表でした。特に前田会員は具体的な媒体の展示、細かいデータの分析等で事後のアンケートでも好評でした。午後は初めての演習研修で「デジカメによる料理撮影のコツ」。白岡直子先生で実際に4種類の料理を使いカメラの使い方、光の

あて方、背景、小物の扱い方等を指導していただきました。大変勉強になりました。両日合せて150名もの会員に何の事故もなく無事に終了することが出来たのも、田草川会長始め県事務局のご支援、他職域からご参加や、資料を提供下さった会員、飲料水等現物提供の業者の皆様のお力添えに心から感謝申し上げます。

ちなみに東西ブロック研修会は今年度で終了。

関東甲信越地区各県行政担当者・各県栄養士会長及び連盟支部長合同会議の開催

事務局

平成22年8月19日（木）・20日（金）の2日間、山梨県笛吹市石和町松本の名湯館糸柳において開催されました。参加者は関東甲信越の関係者23名、日本栄養士会からも八坂事務局長が出席されました。

この会議は原則毎年2回開催都市、連盟支部長及び行政担当者との合同で、それぞれ1回ずつ開催することとしています。

地区会議の目的は、日栄の事業、運営等について理解を得るほか、中央の情報の提供、さらに地区会長から提案された意見、要望等を日栄理事会に報告し、日栄事業運営に反映させるとともに地区内栄養士会の情報、意見交換を図ることにあります。

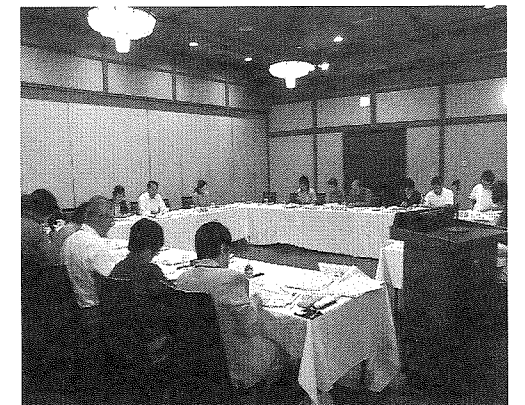
今回の会議の議題は

- ・平成22年度日本栄養士会事業計画について
- ・会員増対策について
- ・公益法人制度改革への対応について

また、（社）日本栄養士会新定款の解説がありました。公益社団法人移行認定に伴う定款改正であります。新法人では、運営にあたって内部統治（ガバナンス）が重要であり、法人自ら自主的、自立的に運営することが求められる。という話がありました。

2日間活発に意見交換されました。、研修会終了後、勝沼ぶどう郷の見学がありました。

次年度の開催は茨城県と決まりました。



出前栄養相談（児童館食育事業）

地域活動部会 立川 聖子

今年度も出前栄養相談食育事業を県内23ヶ所の児童館で子育て中の母親、幼児、学童を対象に行っております。今年度は五感を使って食物を知る体験型学習とした。触る、聴く、におい、味、歯ざわり等を感じてもらい、「よふかしおにとはやねちゃん」の紙芝居で早ね、早おき、朝ごはんの大切さを伝えております。オリジナル媒体「四つのお皿はそろったかな？」で黄、赤、緑の食材と白の仲間でおいしい食事を家族揃っていただくようにわかりやすく栄養士も一緒に楽しみながら活動展開しております。

栄養日本雑誌5月号に発表された徳島県栄養士会の「ホネホネダンス」でカルシウム・たんぱく質・ビタミン・炭水化物・食事バランスガイド等の言葉が覚えらる体操で身体を動かし幼児から大人も楽しめる運動もしています。



いきいき山梨ねりんピック2010での栄養相談の取り組み

病院部会 吉原 京子

日時：9月25日（土）9時～16時

会場：小瀬スポーツ公園

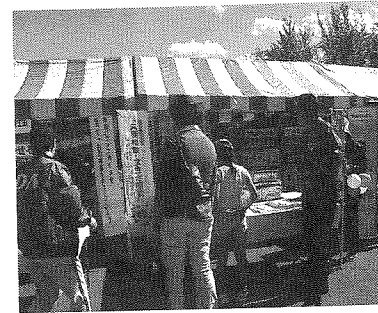
さわやかな初秋、毎年恒例のねりんピックが開催されました。

ねりん・・・とうとうとそもそも高齢者のスポーツ大会と思われがちですが、「元気で楽しい三代」というスローガンのもと世代を超え 誰でも自由に参加できるお祭りで福祉施設のバザーや旬の野菜販売・市町村の特産品販売・福祉施設入所者の手作り食品・作品の販売・縁日コーナー・昔の遊びの体験・工作コーナー・ニュースポーツチャレンジコーナー・食育を考えるコーナー・もちろん介護保険や福祉に関する情報提供・相談コーナーと、一日中家族で楽しめるイベントでした。

その中 山梨県栄養士会は、看護協会・薬剤師会・医師会・理学療法士会などとならび ブースを設置しました。

栄養士会で用意したアンケートに「自分の適正体重をご存じですか？」の問いに、回答正解者が多く、聞くとすでに他ブースで 適正体重を計算してもらった、とのことで健康意識の高さを感じました。栄養士会会員9名で手分けをして高血圧・脂質異常症の食事相談や、希望者には腹囲

測定を実施し、内臓脂肪型の方には 食生活アドバイス・栄養相談を行い ヤクルト（株）より提供された記念品を参加者先着100名に配布し、計160名の方々の栄養相談・健康に関する相談を行いました。



世界保健デー記念「栄養相談・食生活相談」事業への参加

事務局

22年9月25日（土）に㈱ヤクルトの協力を得て、「いきいき山梨ねりんピック」事業と併催で小瀬スポーツ公園を会場として栄養相談・食生活相談を行った。相談件数は、94件であり、相談内容は、次の通りでした。栄養士会メンバー、会長以下15名が相談業務を担当しました。

★相談内容

- ・野菜の摂り方について（35件）
- ・野菜ジュースについて（8件）
- ・肥満（29件） ・その他
- ・高血圧（12件） 「やせ」について
- ・骨粗鬆症（2件） カルシウムを摂る工夫について
- ・高脂血症（7件） ヘルシーメニューについて
- ・糖尿病（13件） 痛風について
- ・貧血（2件） バランスの良い食事について
- ・心臓病（2件）

※重複相談あり

尚、情報提供（資料）のみの方150名来場

★会場にて、アンケートを実施（以下その結果集計報告）

実施人数 94名

性別 【男性：39名・女性：55名】

年代別 【20代：2名・30代：5名・40代：2名・50代：13名・60代：29名・70代以上：43名】

質問1. 「メタボリックシンドローム」という言葉を聞いたことがありますか？

男性： ある（30名） ・ない（9名）

女性： ある（45名） ・ない（10名）

質問2. 自分の適正体重を知っていますか？

男性： 知っている（32名） ・知らない（7名）

女性： 知っている（48名） ・知らない（7名）

質問3. あなたは1日の野菜摂取目標量が「350g」ということを知っていますか？

男性： 知っている（19名） ・知らない（20名）

女性： 知っている（31名） ・知らない（24名）

質問4. よく食べる野菜料理に○印を付けてください。（複数回答可）

男性： おひたし類（9名）・煮物（13名）・炒め物（11名）
生野菜（17名）・温野菜（7名）・具沢山の汁（11名）
揚げ物（14名）・野菜はあまり食べない（5名）

女性： おひたし類（24名）・煮物（36名）・炒め物（27名）
生野菜（32名）・温野菜（14名）・具沢山の汁（28名）
揚げ物（8名）・野菜はあまり食べない（3名）

質問5. 好きな野菜を3つ書いてください。

※回答数の多い野菜順に記載

男性： キャベツ・大根・トマト・レタス・胡瓜・ほうれん草
人参・玉ねぎ・ナス・白菜・もやし・ゴボウ・里芋・じゃが芋・レンコン・セロリ・ウリ・豆

女性： トマト・胡瓜・キャベツ・ナス・レタス・ブロッコリー・ほうれん草・人参・小松菜・かぼちゃ・ゴボウ・大根・ピーマン・白菜・もやし・水菜・にら・いんげん・山芋・アスパラ・じゃが芋・さつま芋・モロコシ・長ネギ

質問6. 牛乳・乳製品をとっていますか？

男性： 毎日（21名）・週2～3回（10名）・とっていない（7名）

女性： 毎日（30名）・週2～3回（21名）・とっていない（4名）

質問7. 健康について気になることがありますか？

男性： ない（16名） ・ある（23名）

女性： ない（28名） ・ある（27名）

質問8. 週に2～3回以上健康のために運動をしていますか？

男性： していない（15名） ・している（24名）

女性： していない（18名） ・している（37名）

考察：栄養士会のブースに興味をもって参加している対象者だけあって男女共に適正体重や運動の実行など健康に対する情報に敏感な様子うかがえる。

野菜の摂取にしても、高齢の方が多かったため積極的に食べているようである。しかしながら、1日の野菜摂取目標量については男女共に知らない方が多くまた、相談内容の多かった内容が「野菜の摂り方について」や「野菜ジュースについて」というところから、今後もこのようなイベントを通し、県民に野菜摂取のための知識・情報の配信に努めていくことの重要性を感じる結果となった。



県民の日のイベントに参加して

行政部会 中北保健所 峡北支所 千頭和 功

11月13日（土）・14日（日）両日、小瀬スポーツ公園において「第25回県民の日記念行事」が、盛大に開催されました。さまざまな団体、関係者による出展があり、「いきいき山梨ねりんピック」をおおきく上回る人出となりました。

栄養士会では、「豆運びゲーム」、「箱の中の野菜の名前当てゲーム」、パンフレット等の配布などを行いました。私は「豆運びゲーム」を担当しました。

つまみにくい大豆を、一粒ずつとなりの皿に30秒で何粒はこべるかを、親子、友人、ご夫婦などさまざまな年齢層の方々に楽しんで参加していただきました。

つまみにくい粒をうまく運ぶには、ハシの正しい持ち方、扱い方が不可欠であると感じました。自分についてハシの持ち方が正しくもっているか意識したこともなかったので最初はできるのかな？と不安のなかではじめましたが慣れてくると小学生などには「こう持つといいよ。」などと正しいハシの使い方をいつも実践しているかのように話していました。

ハシを正しく使うことはマナーという点はもちろん、たべものを上手に器から運び、美しい姿勢で食べることにつながり食への感謝や敬意にもなるのだなあと改めて感じました。

「箱の中の野菜の名前当てゲーム」も簡単なゲームでしたが、以外に好評で参加者が多く、中に入れた野菜がつぶれてしまうほどでした。併せて野菜の栄養成分などのチラシも配布し、野菜摂取量増加のPRも行いました。

また、山梨学院短期大学栄養科の学生もボランティアとして参加していただきにぎやかなブースとなりました。



歯科保健のつどいに参加して

地域活動部会 小澤 志美

11月28日、甲府総合市民会館において「第27回 山梨県民歯科保健のつどい」が行なわれました。9時頃になると栄養士会はもちろん他のブースも整い、会場には参加者が集まり賑やかになってきました。

田草川会長の挨拶を合図に食生活相談コーナーが始まりました。昨年に続き国保連のSATシステム(食育フードモデル)をお借りして来場した方の栄養相談を行いました。

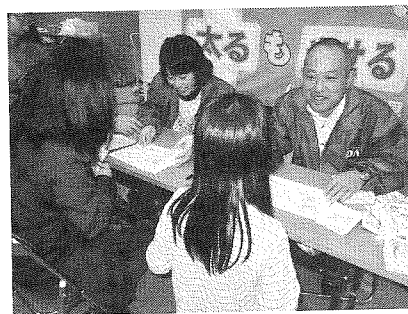
当日は、日常の一人分の夕食のフードモデルとトレイに載せ、システム本体に載せると栄養価計算がされ、栄養結果がプリントアウトされるので、それを参考にして一人一人の栄養相談が行なわれました。

参加者の中には児童の姿も多く見られ、これを機会に食事に関心を持って健やかに成長してほしいと思いました。列ができ待つ人がいるほど大盛況でした。また、エプロンシアターは11時「味覚を育てる」、13時「野菜のパティー」が上演されました。子供達は目を輝かせて真剣に聞き入っていました。大人の方も興味持ってじっと見ていました。

ステージでは午前中に式典が行われ、歯科保健優良者、標語優良者の方々に表彰がされました。午後にはミニ演奏会や太鼓、ダンスの披露などのアトラクションが催されました。

フロアでは栄養士以外にも歯科衛生士さんの「歯磨き指導、フッ素塗布コーナー」、歯科技工士さんの「似顔絵、歯の展示コーナー」農水省の「食育バランスガイド」などそれぞれ特色のあるブースになっていました。

初めての参加でしたので最初は戸惑いましたが事務局の方など顔見知りの方が多くおられましたので、いろいろと教えていただき無事一日を終えることができました。この体験は私にとって勉強になりました。充実した一日をありがとうございました。



「市町村管理栄養士設置に関する陳情」を実施しました。

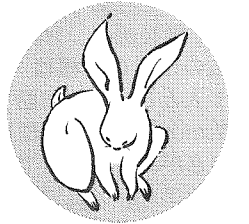
山梨県栄養士会 副会長 遊佐 渚

高齢者の医療の確保に関する法律の施行に伴う特定健診・特定保健指導の実施、介護保険法、食育基本法、児童福祉法の改正及び障害者自立支援法の制定等により、市町村管理栄養士が地域で果たす役割が多くなっているなか、山梨県の市町村行政での健康増進・栄養に関する専門的な知識を有する専任の管理栄養士の正規職員の配置が必要とされている。現在山梨県の28市町村のうち、10市町村が栄養士未設置である。

そこで今年度、山梨県栄養士会と日本栄養士連盟山梨県支部が合同で次の市町村の市町村長殿、市町村議会議長殿に面接を依頼し、平成22年12月初旬、栄養士会 田草川憲男、連盟支部長 石坂恵子、副会長・連盟幹事長 遊佐 渚、栄養士会事務局長 山本聖子、峡南支部長柿島穂津美、連盟峡南分会長 菊池美穂の役員で陳情を実施し、各地域の食生活改善推進員の方々にも同行いただき、管理栄養士の設置の必要性を訴えた。なお早川町については早川町役場振興課長 望月公隆殿に陳情書をお渡しした。

提出市町村	市長村長名 議会議長名	反 応
中央市長 中央市議会議長	田中久雄 山本國臣	管理栄養士は多目的に栄養業務ができるので、設置に向け考慮中であるが、職員採用枠を削減する状況の中なので難しいが市長に伝達するとの事
市川三郷町長 市川三郷町議会議長	久保真一 村松武人	現在のところ、採用は考えていない。現在栄養業務については、栄養士会地域活動部会員の管理栄養士を雇っている。
昭和町長 昭和町議会議長	角野幹男 浅川武男	現在栄養士会地域活動部会員の栄養士を臨時で、雇って栄養業務を実施している状況で、正規職員として管理栄養士を採用することは困難である。
身延町長 身延町議会議長	望月仁司 望月広喜	栄養士設置の必要性は承知しているが、人員削減の現状で採用は困難である。養士を雇っているの、採用の予定はない。
富士川町長 富士川町議会議長	志村 学 望月邦彦	栄養士設置の必要性は痛感しているが、人員増の対応は無理である。
早川町長 早川町議会議長	辻 一幸 望月久弘	栄養士の必要性は承知しているが、正規職員としては採用が困難である。

今年の抱負 卯年生まれの会員に聞く (順不同)



感慨 言われてびっくり年女

研究部会 古山 登茂代

山梨県栄養士会事務局の山本様から「来年は年女でしょ」と言われて、びっくりいたしました。たしかに私は兎年。平成23年の干支は兎。

そうだ年男、年女という言葉があったっけ。私にとっては死語のような言葉だったのです。

生きて4分の3世紀、県庁時代当時の仲間達と栄養士会山梨支部の立ち上げ準備を始めた時からすでに六十余年の歳月が流れ仲間の大半は遠く帰らぬ旅にたちました。

今、私は自ら介護食を作りNPO家事援助の手助けを受け、「生命」のレシピと称して、一週間分の野菜のクリームスープを作り、補助食にしております。12～13種類くらいになりましょうか。実に美味しい。

仕事は甲府クッキングスクールの総括、まあ相談役ですね。教室は北杜市、宇都宮市、山梨市にあり、次世代の栄養士・調理師・カフェマンが室長として活動しております。モットーは「栄養学に基いて、美味しく食べて健康に」健康は国の力、食の大切さを世に伝えております。

(社)山梨県栄養士会とのご縁

集団健康管理部会 ホテルデュシェブルー 大木 由枝



純白で可愛い干支がまた巡ってきました。とうとう還暦です。

私は30年前、北杜市に小さなホテルをオープンし山梨県に移住しました。山梨県に知人は1人もなく、勤務していた病院の上司がこの事を心配し、(社)山梨県栄養士会の当時の会長、深山武先生を紹介して下さいました。

主人と2人で移住した当日は、引越し荷物に埋もれながら、東京から持参したハムとパンでの夕食でした。新築の建物は静まり返り、深々と時間だけが過ぎてゆき、会話も少なく、寂しさから見慣れたマーケットの袋さえなつかしく思えました。

その時、沈黙を破る電話の音。「無事につきましたか。山梨県へようこそ。」なんと！深山先生からの電話でした。山梨県に私達を待っていてくださる人がいる。うれしさと安堵感で涙があふれました。

その後も深山先生には、公私ともどもお世話になりました。

今では(社)山梨県栄養士会を通じ友人もでき、2008年の国際会議では栄養士の新しい職務を世界に提言できました。

あの日、あの1本の電話が、(社)山梨県栄養士会と私の深いご縁の始まりであり、職域が変わっても栄養士の職務を継続する意思を強く誕生させたと思っています。

今年の抱負

地域活動部会 堀川 清美

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日本をはじめ、世界の経済状況が明るく安定した年となり、平和で穏やかな一年であるようにと願います。

私は、三年ほど前から実家の農業を継ぐことになり、桃づくりに励んでいます。いざ決心して仕事をしてみると、気温の高低、雨や風と言った自然現象によって、毎年頭を悩ますことが多々あり、作物を育てることの難しさを痛感しております。

最近では農業に就く若者や、農業をとり巻く明るい話題が多く聞かれます。しかし私の身近では高齢化や耕作放棄地の問題は何かしなくてはならない事なのに、解決していないのが現実です。

食の安全安心、地産地消もすっかり当り前のように言われるようになりましたが、実際に作物を作ることは、たくさんの方の労力と時間がかかることだと骨身にしみて感じるこの頃です。

私は桃づくりをする中で、生産者と消費者が交流を持ち、農作業の体験が気軽にできたらいいなと思いました。桃の畑を眺めながら、ちょっとお茶など飲めるカフェを経営したいと思っています。そこでは栄養士としての知識も生かせたいと思っています。数年後の実現に向けて今年はメニューの研究に取り組みます。たくさんの方の努力が必要です。が、一歩一歩進んで行こうと思います。

今年の抱負

福祉部会 前田 美登里

新年明けましておめでとうございます。

老人介護施設に管理栄養士として勤務し6年目になりました。仕事と家庭の両立に悩んだこともありましたが、ショートステイ・デイサービスのお客様や職場の皆様・そして家族に支えられ現在に至っています。

健康ブームで食に関する情報が溢れています。見ることも聞くことも、実際にそれらをする事は違います。試行錯誤の連続ですが、お客様の満足につながるようこれからも努力していきたいと思っています。



今年の抱負

福祉部会 介護老人保健施設 旭ヶ丘 古家 未希
私の今年の目標は「もっと居棟へ行って、利用者様1人1人とじっくりお話をすること」です。

私が上のような目標を立てたのは、カンファレンスでの気づきがあったからです。

カンファレンスで、作業療法士や看護師、介護士など他職種の皆さんは利用者様の普段の様子が想像できるくらいに詳しく話しているのに、私は、血清アルブミン値等の採血の結果やBMI等の数値のことばかり話していて、私の記入したものや話していることから利用者様の様子があまり見えてこないことに気がつきました。

老健で働き始めてもうすぐ3年目を迎えますが、今まで利用者様とのふれあいが少なかったことに改めて気づき、自分のことを恥ずかしく、情けなく思いました。

これからは、食事の観察や嗜好調査などの時間に力を入れ、利用者様が食事に望んでいることは何なのかを考え、その実現に向けてできることを模索していきます。

そして、自分の信念を持って働くことのできる管理栄養士になるために経験を積んでいきたいと考えています。

今年の抱負

集団健康部会 昭和大学富士吉田校舎 宮下 友里
明けましておめでとうございます。

私は現在、昭和大学富士吉田校舎の寮の食堂の栄養士として勤務しています。富士吉田校舎は大学1年生のみの寮生活なので毎年600名もの学生さんを迎え、年間食事のお手伝いをしています。

朝・昼・夕食の提供と長い一日ですが、就職してからの4年間でとても充実し、あつという間に感じられたのは、学生さんの「美味しかったです。ごちそう様でした。」の一言があるからだと思います。その一言で疲れも吹っ飛び、励みになります。

今年も4月に入学してくる1年生に、寮食を通して食の楽しさ、様々な栄養情報などを提供し、学生さんが満足できる寮生活になるようサポートしてきたいと思います。

今年の抱負

福祉部会 たんばぼ保育園 織田 鮎美
「先生～今日のお給食何ですか!？」と毎日元気でかわいい声を聞きながら調理を始めるのが私の日課です。4月に

社会人となりここまでくるのは本当にあつという間でした。

現在、108人の園児の給食を栄養士2人で作っています。始めの頃は、緊張や戸惑う事ばかりで、子ども達の事を考えた食材の切り方や味付けに苦戦する日々でしたが、年が明け、少しずつ1日の流れの把握やその場に合った適切な判断ができるようになってきました。

それと同時に、作ることの楽しさを改めて実感しています。しかし、今に満足するのではなく常にチャレンジ精神を忘れず成長していきたいです。また、1年目は目の前にある事をこなすことで精一杯ですが、少しずつ食べるものの大切さや楽しさを子どもや保護者に伝えられる豊富な食育活動を展開していきたいと考えています。

今年は管理栄養士の国家試験を受験する大切な年です。仕事と勉強を両立していくには中途半端な気持ちではできないと痛感しています。そんな大変な時こそ、子ども達のかわいい笑顔に癒され、さらに「今日のお給食とてもおいしかったです。」という言葉に励まされながら日々精進していきたいです。

『新学部と共に…』

研究教育部会 山梨学院大学 森本 美里
新年明けましておめでとうございます。

4月から山梨学院大学健康栄養学部管理栄養学科がスタートして、初めての年明けを迎えました。できたてはやはやのこの学部…知らなかったという方もいらっしゃるのではないでしょうか?そこで昨年の活動をひとつづつ報告させていただきます。昨年9月と10月に山梨県との連携事業として、県民に対する健康公開講座をさせていただき、多くの方にご参加いただきました。ボランティアとして参加した学生さんは、1年生ということもあり専門的な指導には直接関わられなかったのですが、参加者の方から「参加できてよかった。ありがとう。」「管理栄養士目指して頑張ってるね。」とお声をかけていただき、みている方が嬉しくなるくらい本当に充実した良い表情をしていました。学生自身の勉強、そして県民の方へ新学部のPRになるよい機会になったのではないかと感じました。

私も4月からこの学部と共に助手としてスタートしたばかりです。社会人1年生でもあり、右も左もわからないまま始まった新生活。新しい環境で戸惑うこともありましたが、多くの方々を支えられ、助けていただきながらこうして無事、新年を迎えることができました。日々、恵まれた環境で充実した生活を送らせていただけていることに、心から感謝しながら、2011年も私なりに、精一杯頑張っていきたいと思います。

その他の09年生まれの方々

(順不同)

大澤 千明 山角病院
小林 貴子 山梨大学医学部附属病院栄養管理部
守屋喜久代 介護老人福祉施設コスモ
若林 由貴 養護老人ホーム功德会
大槻 郁美
白倉 有紀
石綿亜梨沙 韮崎市立静心寮
株式会社デバストあけぼの医療センター

鎮目 和美 笛吹市役所
田中由里子 中北保健福祉事務所
油井菜奈恵 社会保険山梨病院
長坂まり恵 障害者授産施設緑樹会グリーンヒルホーム
藤田 大地 城南病院
手塚千奈美 社団法人山梨県食品衛生協会
(掲載を確認したの方々)

会員から会員へ

支援学校に勤務して

学校健康教育部会 窪 寺 ゆかり
(かえで支援学校)

早いもので栄養士となり19年が過ぎ、今年度から、かえで支援学校に勤務しています。

今まで医療、行政、学校と経験してきて、それぞれにやりがい楽しさはありませんでしたが、学校は子どもたちの明るい笑顔や声があふれており、こちらも自然と笑顔になれます。

かえで支援学校は、平成13年に開校され、今年10年目を迎えた特別支援学校です。

では、かえで支援学校での様子をお知らせします。

ここでは調理を外部委託しています。献立は私が立てそれに基づいて、受託業者が外部の施設で調理をして配送車で運んできます。かえで支援学校の中には、調理室はなく配膳室のみです。配膳員6名、再加工調理員2名と栄養士の9名で、給食をクラスごとの食缶に盛り込み、小学部は個人ごとに盛り付けます。再加工調理も行い、そのままでは食べにくい児童生徒に対してフードプロセッサー・ミキサーを使いペースト状、刻み状態にします。その中でも軟らかいものは、噛み取る練習、噛む練習のためにそのままの形で出します。また、みそ汁等は、汁と実に分け、実の軟らかいものはそのままの状態、また、固いものはミキサーにかけて危険のないように加工します。主食のごはんはおかゆ、軟飯にし、パンはパンがゆに加工します。毎日仕上がってきた料理を確認しながら作業しています。また教員とも連携をとりながら、児童生徒の摂食状況を確認しつつ、日々食べやすいように工夫しています。

私は栄養士となり19年経ちましたが、沢山の皆さんに支えられてここまですることができました。先輩栄養士に頼ることも多いですが、これからも明るく元気に自分の目指す栄養士像に向かって頑張っていきたいと思っています。

保育所に勤務して

福祉部会 渡 辺 千代江
(山中保育所)

私は富士五湖の一つの山中湖にあります山中保育所、平野保育所の栄養士をしています。両保育所の栄養士として勤務してから早数十年が経とおとしています。その数十年を振り返ってこれと云った記憶に残るような辛かった事はないのですが、給食の事に関して毎月2回給食の反省があり献立の内容などを話合いますが、私自身自分の献立がかわいい物だから譲る事もなく醒めた雰囲気になってしまう事もあります。心許している仲間たちです。翌日はスムーズに挨拶が出来仕事に取り組める事が出来ます。こんな調子で一年一年を送っています。その他に仕事の中で嬉しかった事と云うよりは、毎日が楽しい事です。0才児から5才児の子供たちの様子が毎日変わるので接している私たちは笑いが絶えません。そして子供たちはこんなかわいい事を云ってくれます。「今日の給食おいしかったです。今日のおやつは何ですか」って私たちはその子供の言葉を励みに毎日おいしい給食にしてあげよう、今度はこうしてあげよう色々なアイディアが膨らんでいきます。本当に子供たちはかわいらしくて子供たちの何気ない言葉に励まされたりするので、その度に保育所で働けて良かったなと思っています。これから先も子供たちの為に、子供たちが楽しみに待っているような、保育所給食にして行きたいと思っています。



厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございます

厚生労働大臣表彰を受賞して

病院部会 山梨赤十字病院 深澤幸子

この度、厚生労働大臣表彰をいただき、まだ信じられず「夢？」かと思う日々が続いております。私がこのような栄えあるお褒めを頂けたのは、思いを同じくする山梨県栄養士会の諸先輩・会員の皆様方、又各方面で私に多くの活動の機会をお与え下さった先生方・推薦していただきました行政の皆様のおかげと心より感謝しております。

栄養指導業務は、私にとって日々の「大黒柱」になっている業務であり、それが無くては夜も日も暮れないほど大切な宝物です。この表彰で前任の院長先生に言われた事を思い出しました。「貴女から栄養指導業務を取ったら、管理栄養士としてのモチベーションが下がるだろう」本当の私の姿を理解して下さっていたんだなあ・・・と。

私の栄養指導業務の原点は、大学卒業と同時に勤務した私立医大の附属病院でした。しかし、管理栄養士が大勢おり栄養指導の順番はなかなか回っては来ず、その病院に在籍していた卒業後の7年間に担当した栄養指導は2件と調乳指導のみでした。

その様な経験不足の中、今の勤務先に昭和56年に着任しました。管理栄養士は私一人しかいない上、栄養指導自体があまり知られてはおらず、指導料もごく僅かで病院の収益としても忘れられていた時代でした。そんな中でも先生方の協力を得て細々と個別指導をし、糖尿病教室・腎臓病教室はサービスで実施し、その他母親学級での妊婦食の説明・初心者ママさんへの調乳指導・乳児健診の際の離乳食相談などを担当していました。また地域に出ることも多く、お料理教室などへのお手伝いや、町の乳児健診・育児学級・母親学級・健診の事後指導への協力をさせていただきそれらが全て良い経験となっております。現在、病院栄養士業務も大きく変化成長し、病棟においては医師・看護師・他の医療職種と協働しチームで患者さんを診ていくようになり、管理栄養士の資格のほか、糖尿病療養指導士・病態栄養専門師・NST専門療法士など多くの5年更新の資格認定が行われており、ダブル・トリプルそれ以上の資格を有する後輩たちが目覚ましい活躍をしています。

昭和の管理栄養士!! 定年まであと2年と少しをどう過ごすか・・・就職する事より、退職する事のほうが大変だなあと思う今日この頃です。まだまだ、この管理栄養士という資格で出来る業務を全うし、努力をしていくことそして、何より今回の受賞に恥じない業務を継続していく事を改めて誓いました。



厚生労働大臣表彰を頂いて

集団健康管理部会 ホテルデュシェルブルー 大木由枝

昨年9月9日、栄養改善事業功労者として厚生労働大臣表彰を受賞致しました。ご推薦頂きました(社)山梨県栄養士会、山梨県職員の皆様には心からお礼申し上げます。私のホテルでは、食事療法を必要としている人々に、食事療法対応食をフランス料理にて提供しています。療養ではなく、人生の楽しみとしての旅の実現をお手伝いしているのです。食事は美味しい事が大切です。食事は生きる喜びを感じる身近な幸せです。何かの理由で食事療法をする人々も同様であるべきと考えています。この職務の必要性は正しく認識する事が難しく、社会で認められるまでに多くの時間が必要でした。社会に必要なものでも、一般には気づかれていない事もあるのです。

私はホテルにおける食事療法対応食提供の必要性を提言するために、学会発表を選択しました。専門家集団の厳しい評価と評論に耐えられてこそ、管理栄養士が提供する食事療法対応食であると考えたからです。

ホテルにおける食事療法対応食提供は、新しい分野であり先駆者も文献ありません。医療機関でない事を理由に、食事基準や提供における一切の管理を軽視してよい事はないのです。また、初めに着手した者のレベルが、後に続く研究者のレベルを規定してしまう事もあります。誰も着手していない分野だからこそ、慎重でなければなりません。

エビデンスを確立する領域に到達するまで、生化学・生理学・病態学を基本から学び直し、食事療法対応食の提供に至りました。現在は、ホテルで食事療法対応食を提供しながら、山梨県立大学看護学部と学校法人甲府看護専門学校で臨床栄養学の講師を務めています。

この二つの職務は一見ミスマッチに見えますが、私にとっては両輪の如く大切なのです。喫食者が食事を信頼し、安心して楽しむ事ができるからです。

これからも二つの職務を大切に、食事療法を必要とする人々にも、食する喜びを味わって頂きたいと願っています。

栄養改善功労者山梨県知事表彰おめでとうございます

知事表彰を受けて

富士吉田市役所 中村益子

この度「すこやか山梨21推進大会」において栄養改善功労者として身に余る知事表彰をいただきました。これも山梨県栄養士会、行政機関等関係者各位の推薦をいただきましたおかげと心よりお礼申し上げます。

山梨学院短期大学食物栄養科を卒業した当時は、就職先も少なかったですが、運よく富士吉田市に奉職し、病院、学校、行政等色々な職場を経験させていただき、私自身本当に勉強になりました。すばらしい友人、仲間と出会い、多くの方々に支えられ、栄養士として仕事をつづけられることができました。

病院では新病院建設と共に、運営が直営から委託に変わり、患者様から「おいしかった」という言葉を励みに食事が楽しみになるよう、選択食、メニュー・行事食をとりいれ満足した食事提供ができるよう、委託会社と共に日々奮闘したことを思い出します。

去年より行政にて、乳幼児健診、各種教室・特定保健指導、食育への働きかけなど職場の方々に助けられて、仕事をさせていただいています。「食」を通して市民の健康づくりや、疾病予防のための役割はますます重要になってきます。食生活改善のためにお手伝いをしていきたいと思います。また、栄養士として定年を迎えられることに、心より皆様に感謝申し上げます。これから地域のなかで自分のできることが少しでもお返しできればと思っています。

多くの皆さまに支えられて

笛吹市役所 宮川善美

この度、「すこやか山梨21推進大会」において栄養改善功労者として、知事表彰をいただきました。これもひとえに、多くの皆様に支えられての受賞と感謝申し上げます。

昭和55年より行政栄養士として勤務させていただいております。就職した当時は、まだ市町村での行政栄養士は少なく、栄養士としてどんな業務をして行っているのか分からず、いつも保健所栄養士の皆様にご助言、ご協力を頂きながら、手探りで業務をこなしていました。

わずか2年間短大で学んだだけで、乳幼児健診や病態の相談を受けていたあの頃を思うと、相談してくれた皆様に、本当に申し訳なかったなと思うばかりです。

今でも日々悩むことばかりですが、職場の皆様、家族に支えられながら、なんとか仕事を続けています。今日、市町村栄養士も複数配置が当たり前のようになり、栄養士の業務もだいたい確立されて来ました。その反面、栄養士の果たす役割も非常に大きなものとなっています。

これからも、日々研鑽し、努力して行きたいと思います。ありがとうございました。

知事表彰を受けて

身体障害者療護施設きぼうの家 高石梅子

このたび、健やか山梨21推進大会の席上で栄養改善功労者知事表彰をいただきました。身に余る光栄と感激でいっぱいです。これもひとえに栄養士会の諸先生方のご指導と、ささえていただいた方々のご協力によるものと心よりお礼申し上げます。

顧みれば、特別養護老人ホームに23年、その後知的障害者施設に2年、そして身体障害者施設に8年と栄養士として働きはじめて、もはや30有余年が過ぎました。働きはじめた頃は何もわからず、いろいろな壁にぶつかりました。そのたびに栄養士会に電話をして、教えていただいたことを昨日のこのように思い出します。福祉の現場もだいぶ様変わりしました。措置から契約へ、そして介護保険制度のスタート。障害者施設においても自立支援制度へと移行し、食事単に提供するだけではなく、一人一人の個別対応、栄養ケアマネジメントの必要性和、日々変化しています。栄養士として何ができるのか、何をしなければいけないのかと、日々葛藤の毎日です。すこしでも喜んで食べていただきたい、そして「美味しかったですよ」「ごちそうさまでした」と言う利用者様の声を聞くと、嬉しい気持ちでいっぱいになります。

「食は命なり」、その文字が表しているように、人に良いものを提供する、それが食であり、命につながると思います。そして身体だけでなく、心にも良いものを提供できたらと思います。このたびの表彰を励みにこれからも日々研鑽を積み努力していきたく思います。

これからも、ご指導、ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

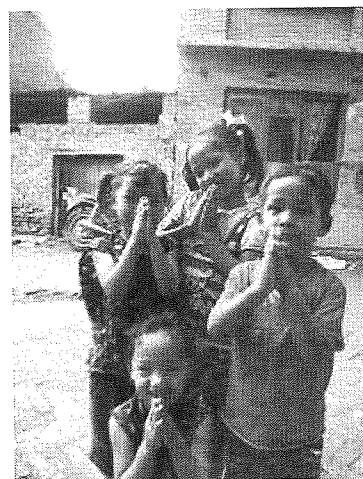
最後になりましたが、(社)山梨県栄養士会の益々のご発展を祈り感謝のお礼とさせていただきます。本当にありがとうございました。

海外で活躍している会員

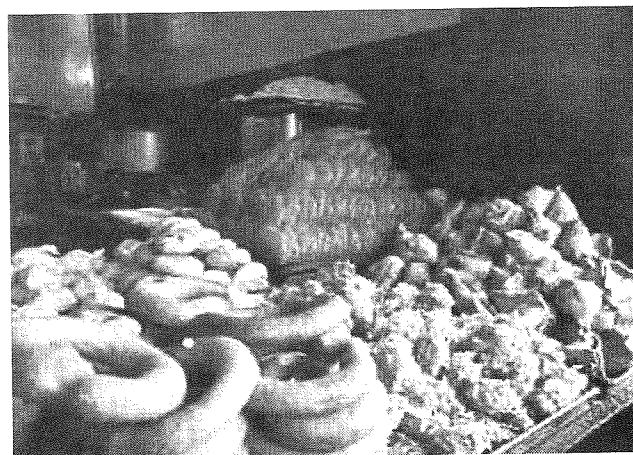
山梨県栄養士会の皆さま、こんにちは。私は、今ネパールのカトマンズで生活しています。青年海外協力隊ボランティアとしてです。私がこうしてネパールで過ごすことができるのも、職場の上司や同僚、家族、友人の理解、協力があってこそです。その有難さをこちらに来て実感しながら、自分には何ができるのか、何をすべきなのかを考えて過ごす毎日です。海外でのボランティア事業は国際協力という言葉で表現することができますが、今は私がネパールに協力するというよりも、私自身が学ぶことに協力してもらっている、という感じです。

ネパールは、中国とインドの間に位置しエベレストを始めとするヒマラヤ山脈や盆地地帯、ジャングルのような湿度が広がる低地地帯まである多様な地勢の国です。面積は、北海道と九州、四国を足したものにほぼ等しいそうです。100以上の民族が暮らすこの国では、標準語がネパール語、同じ民族間ではその民族の言葉を使います。最近では、初等教育から全て英語で行われるため、ほとんどの人が英語も話すことができます。首都カトマンズでは、日本から何も持って来なくてもよかったと思えるくらい豊富に物資があり、何でも揃います。標高1300m程ですが、気候は温暖でとても過ごしやすいです。ここ十年程の間に建物や道路の建築が進み、急速に近代化されていますが、同時に物価も高騰し、多くの人は職業も無いままその日暮らしを強いられている状態です。私がこちらに来て驚いたことの一つに計画停電があります。毎日数時間の停電がネパール全土で行われています。冬期には停電時間が十数時間も及ぶそうで、今から恐怖です！最初の頃は「あー、〇〇したかったのに～」などと思っていましたが、今では「電気無いし、仕方ないか」とネパール人の様にろうそくの灯りで過ごすことを受け入れられるようになって来ました。ただ、日常生活では受け入れることができても、この電気の問題はネパールの経済発展に大きな障害となっていることは間違いありません。

配属先はカトマンズ市役所公衆衛生部です。1994年より中、低所得者層への保健医療サービスの拡充を目指して開始され、現在では市内に21ヶ所のクリニックや鍼灸セ



子供たちのナマステ



カジャと呼ばれるおやつたち

ンターを有しています。約80名のスタッフが家族計画、母子保健、結核対策など都市住民の健康に関する事業を行っています。カトマンズ市は年々人口が増加しており、衛生環境が整わないまま生活をしている人が集まるスラムエリアがいくつか形成されています。そのような地域への衛生、栄養に関する教育をクリニックのスタッフと共に行うことが、私に期待されています。加えて、都市化により、過食や運動不足による肥満、高血圧等の生活習慣病のリスクグループも増加しており、生活習慣の見直し啓発事業へのニーズも高いです。色々なことをやりたい、やらなければ、という気持ちは強いのですが、自分の言いたいこともままならないという言葉の壁、少ない事業予算、そしてゆ～ったりしたネパリタイムの流れに阻まれ、事業の組み立てはなかなか思うようには進んでいませんが、その様なことも含めて体感することが今回の私の仕事と捉え、ビスターリ（ネパール語でゆつくりの意）やっていきたいと思っています。

色々な民族、宗教、古いものと新しいもの、都市と村落部が混在する不思議な街カトマンズですが、最近我が故郷山梨県（須玉町）に似ていると感じています。それは何故かという、山に囲まれている盆地であること、夜は電気が少なく星がきれいに見えること、人々は早寝早起きで家族血縁関係の絆が非常に強く、昔ながらの習慣を大事にして暮らしていることなどが当てはまります。そして、人は必ず「結婚するべきだ！その方が人生は楽しいじゃない」と言います。私が今後結婚するかどうかは置いておいて、家族の絆の深さや純粋に神に祈りを捧げる姿は、日本に帰ってから大事にしたいと思わせてくれます。そして、ネパールで学んだことを山梨県に還元できるようにしたいと思います。

山梨県福祉保健総務課（自己啓発休業中） 藤原 瑞穂

職域部会のコーナー

学校健康教育部会

生きた教材としての学校給食と食育の推進を目指して

谷村第一小学校 高尾 順子
学校給食は、経済的困窮と食糧不足から子ども達を救済することを目的に開始されました。しかし、今日のように食生活が豊かになり、多様化している時代においては、その目的も変わり、教育活動の一環として実施されています。学校給食法に定められている学校給食の目標も食育の観点が盛り込まれたものに改定され、平成21年4月から施行されています。

今、食育は学校生活の様々な場面で実施されています。その中心となるのが学校給食です。日々の給食時間は「食事」という実践の場であり、毎日の体験を通して子どもたちは、様々なことを学び、身に付けていきます。食事の重要性、望ましい栄養や食事のとり方、食文化、感謝の心、社会性、食品を選ぶ力などを「給食」を通して学び、さらに、

教科などの学習と関連させ知識を深めていくことは、学校だからこそ行える「食育」と考えます。

このような中で、学校健康教育部員各自は、学校給食が生きた教材となるよう日々努力しています。そして、部会としては、講師に栄養教諭として実践を重ねている先生をお迎えして、効果的な指導を進めるための教材・教具を作成する学習会を実施しました。給食の献立を基に指導につなげられる教材・教具でしたが、アニメのキャラクターを使い、子ども達が興味・関心を持つよう工夫されたものでした。全員で作成しましたが、子ども達の顔を思い浮かべ、反応を予想しながらの楽しい作業でした。また、作成したものでなく、他の教材・教具を紹介していただいたので、自分で教材・教具を作成する際の視点も学ぶことができ、それぞれの実践に結びつく機会となりました。

これからも子ども達の食生活や健康状態、発育状況など現状をみながら、部員同士の交流を深め、各校での実践を重ねていきたいと思っています。

研究教育部会

研究教育部会活動報告

部会長 深澤 早苗（山梨学院短期大学）

研究教育部会では、平成22年度に総会、研修会等の活動を行いました。

1. 研究教育部会研修会

日時：平成22年3月16日（火）10:00～11:30

場所：山梨学院短期大学

演題：「教育・研究に生かすためのコンピューター技術向上をめざして」

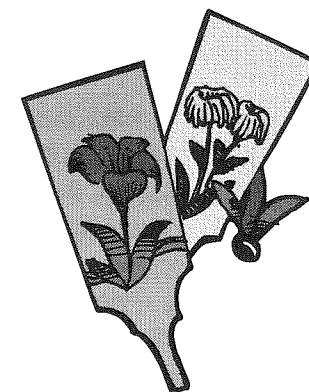
2. 研究教育部会総会

日時：平成22年3月16日（火）13:00～14:00

場所：山梨学院短期大学

議題：平成21年度研究教育部会関連業務・研修会事業報告、平成21年度歳入歳出決算報告、平成22年度事業計画について

今年度の研修会は、山梨学院短期大学非常勤講師の本長健介先生に、コンピューター技術の向上について講義をしていただきました。当日の研究教育部会員の参加人数は11名でした。研修会では画像の処理を中心にプレゼンテーション資料の作成・技法のコツについて学ぶことができました。画像圧縮はその種類によってペイント編集、ワード編集、圧縮ソフト利用などがあり、具体的な演習課題を使っ



集団健康管理部会

研修会として精進料理を勉強いたしました

集団健康管理部会会長 大木 由枝

平成 22 年度の研修会は、久しぶりに肩のこらない楽しい研修会を実施しました。精進料理の勉強です。私ども栄養士の重要な職務は、数値として算出される必要栄養量を食事に翻訳し、食事を提供する事です。当然ですが、適切な栄養素をバランスよく含有し、美味しい食事を提供するには、選択できる食材の種類(自由度)が多ければ多いほど実施しやすいのです。

その中で、今日のアレルギーに対する対応はどの職域の栄養士も悩みの種です。精進料理は大豆製品が多く、大豆アレルギーには適応できませんが、使用食品に厳しい制限があり、創意工夫を迫及し「もどき料理(〇〇に似た料理)」の原点とのいえる非常に特殊な料理です。

当日の献立を説明して頂き、実際に喫食し、質疑応答の中で、食材選択や使用方法、および調理のコツを学ぶ目的で実施しました。

集団健康管理部会員の職場では、栄養士は 1 人だけ勤務している所も多く、部会員にはなかなか出席して頂けない

事情を抱えています。その中でも一生懸命活動しています。平成 22 年度の活動として、下記の事業を実施しました事をご報告致します。

- 1、集団健康管理部会総会・研修会
日時：平成 22 年 5 月 12 日(水)
場所：山梨県男女共同参画推進センター
議事：事業実施報告及び決算報告・事業計画及び予算案・部会運営など
研修：症例から学ぶ生化学 9 「絶食時の体重減少」
- 2、集団健康管理部会総会時懇親会
日時：平成 22 年 5 月 12 日(水)
場所：ウェルシティー甲府
話題：情報交換・交流
- 3、集団健康管理部会研修会
日時：平成 22 年 11 月 25 日(水)
場所：恵林寺 一休庵
研修：精進料理について
ー食材の選定のコツと調理方法ー

行政部会

行政栄養士研修会について

行政部会 中北保健所峡北支所 千頭和 功

行政栄養士研修会については諸事情により 3 月の下旬に研修会を開催することとなりました。

内容は「自然災害時における栄養士の役割」とし、新潟県中越大地震、中越沖地震を経験し、被災者や給食施設の復興支援にたずさわった保健所管理栄養士を招き、講演をいただく予定です。

大規模自然災害の発生が確実視され、危機管理体制の必要性を感じているものの対策について不十分であることは

多くの行政栄養士が感じているとこでした。

そこで大きな自然災害経験が少ないわれわれ山梨県の行政栄養士がどのような対策や危機管理をおこなっていくべきか学ぶ機会となるよう企画しました。

今回の研修会では、被災にみまわれ苦闘をかさねてきた県や担当者の生の声をきくことにより、マニュアルや災害の想定だけでは想定できない部分も確認でき、説得力があると期待されます。

企業、栄養士会と個々の会員を含め地域全体で対策しなければならぬ問題であり、今後の体制の拡充が望まれる分野と考えています。

地域活動部会

活動報告

地域活動部会 立川 聖子

今年度の活動は、先ず、山梨県が開催地となり「平成 22 年度全国地域活動栄養士協議会東ブロック大会」(代表者会議・懇親会・研修会)を無事に終了したことです。1 年前からの準備と、田草川会長始め事務局の皆さまのご支援、各支部会員の努力と協力で大成功裡に終了したのです。稀にみる暑さの中、7 月 30 日(金) 31 日(土)に笛吹市ホテル春日居に 150 名の参加者をお迎えして、懇親会では手づくりのおもてなしで、ほうとうづくりのパ

の使い方などプロの手法を見本に会場いっぱいに使って 4 種類の料理の撮影に挑戦したのです。

此の大会をきっかけに部会員の絆が更に強くなったことが実感できたことも大きな収穫でした。

今年度も児童館への「出前栄養相談」(食育活動)は 23 か所の児童館へ出向き、全国展開されている「早寝・早起き・朝ごはん」を主題に食べ物を五感を使って味わう体験

病院部会

活動報告

部会長 深澤 幸子(山梨赤十字病院)

平成 22 年度の病院部会の活動は、なるべく多くの会員が研修会に参加出来るような取り組みをする事でした。

また、委託化の波が大きくなつて見せている中、栄養士といえども自分達が納得し間違いのない契約をしていくための取り組みも、欠かせないものとなり、委託業界への抑止効果も考えに入れ独自の検討会を立ち上げ少しずつ進みだしています。

また病栄協会長が、今年度「関東ブロック」から選出された事を機会に私たちが所属する「日本栄養士会病院栄養士協議会」への理解を深めるために講演をしていただく事が出来ました。

隔年で実施される「実態調査」チーム医療関連の「緊急アンケート」など会員の皆様のお力をお借りする事が多くここに御報告しお礼を申し上げます。

- 1 総会 平成 22 年度病院部会総会
平成 22 年 4 月 23 日(金) 14:00 ~
於 かいてらす かいてらす 大会議室
出席・委任状過半数で総会成立
- 2 役員会平成 22 年度 第 1 回 役員会
平成 22 年 5 月 26 日(水) 19:00
於 甲府市北公民館
今年度中の計画・内容・担当等全て決定した。
*その後、緊急に検討する事項等は毎月の研修会にて検討した。
平成 23 年 1 月 26 日(水) 役員会予定
- 3 研修会 第 1 回
平成 22 年 4 月 23 日(金) 於 かいてらす
参加者: 90 名
内 容: 高齢者の栄養サポート
講 師: 近森病院 臨床栄養部長 宮澤 靖先生
- 第 2 回
平成 22 年 6 月 26 日(土)
於 甲府市遊亀公民館 研修室

と「ホネ・ホネ・ダンス」で楽しく栄養についての学びを伝えております。他に笛吹市の「きつず八代」と甲府市の「健やかサロン」のお手伝いを年間を通してお手伝いをしております。

部会員の研修は、各支部の活動と年明けにすぐに役に立つ研修を計画実践する予定になっております。

参加者: 40 名

内 容: 全国病院栄養士協議会の動き

講 師: 全国病院栄養士協議会会長 石川 祐一先生

内 容: 静脈栄養の基礎

講 師: 大塚製薬 学術部

第 3 回

平成 22 年 7 月 16 日(金)

於 びゅあ総合 小研修室 1

参加者: 10 名

内 容: 消毒頻度を高める環境作り

講 師: テルモ 学術チーム

第 4 回

平成 22 年 8 月 20 日(金)

参加者: 15 名

内 容: ビタミン B1 欠乏のリスクと対策

講 師: テルモ 学術チーム

第 5 回平成 22 年 9 月 17 日(金)

参加者: 21 名

内 容: 褥瘡と栄養～基礎編～

講 師: テルモ 学術チーム

第 6 回

平成 22 年 10 月 15 日(金)

参加者: 8 名

内 容: PEG と半固形化栄養剤

講 師: テルモ 学術チーム

第 7 回

平成 22 年 11 月 19 日(金)

参加者: 14 名

内 容: TPN と EN における血糖管理等(血糖自己測定体験)

講 師: テルモ 学術チーム

4 全国病院栄養士協議会等への参加

平成 22 年 4 月 17 日・18 日 病栄協代表者会議

東京 栄養会館 部会長参加

謹んで新年のお慶びを申し上げます

平成 23 年 元旦

(社)山梨県栄養士会賛助会員

(順不同) 平成 23 年 1 月 1 日現在

社 名	電 話	担 当	業 務 内 容
エ コ ア 株 式 会 社	055-241-1755	相 川 秀 樹	防鼠害虫駆除
和 泉 産 業 株 式 会 社	055-222-1153	高 石 俊 二	食器、厨房機器
㊤ 上 田 屋	055-266-2331	上 田 昭 雄	ソフクリーン、もずく
大 塚 製 菓 甲 府 出 張 所	055-276-8581	村 上 裕 之	ポカリスエット、ネイチャーメイト
オ ギ ノ 食 糧 ㈱	055-222-5181	深 沢 千恵子	給食材料
㈲ オズプリンティング	055-235-6010	丸 山 健	印刷、出版、紙工
㈱三和化学研究所甲信支店	0263-36-1771	三 輪 正 美	医療用食品の研究開発・販売
甲 信 食 糧 ㈱	055-273-4561	入 倉 斉 二	食品材料卸
シ キ シ マ 醬 油 ㈱	055-273-6844	小 林 秀 男	醤油、減塩調味料、ジャネフ製品
信 濃 化 学 工 業 ㈱	0262-43-1115	山 田 芳 嗣	食器、トレイ
㈱ テ ン ヨ 武 田	055-266-5251	広 瀬 潔	醤油、給食材料
㈱ 日 新 厨 房 企 画	055-273-3881	杉 本 哲 史	厨房企画設計管理
㈱ は く ば く	0556-22-8989	長 沢 琢 美	麦の総合食品メーカー、「骨太家族」
宮 坂 醸 造 ㈱	055-241-8181	中 澤 等	味噌
湊 興 ㈱	055-226-3742	小 野 謙 一	鮮魚、煮貝
㈱ マ ル ハ チ 村 松	054-622-7371	千 田 幸 一	鰹の素、だしの素
山 梨 ヤ ク ル ト 販 売 ㈱	055-237-8960	保 坂 憲 夫	健康科学ヤクルト
北 沢 産 業 株 式 会 社 甲 府 支 店	055-226-2800	手 塚 清	厨房設計管理
三 信 化 工 株 式 会 社	03-5405-7688	宇 梶 純 平	メラミン、ポリプロ食器
三 島 食 品 ㈱ 東 京 支 店	03-3317-1212	鈴 木 健	ふりかけ、レトルト食品
㈱ H + B ライフサイエンス東京支店	03-5285-0562	橋 本 洋 治	特殊栄養食品、低エネルギー食品「マービー」
㈱ マ イ ン ド	03-3498-3024	松 井 忠	カルライス、粥のもと、白粥
テ ル モ 株 式 会 社	0263-48-0701	伊 藤 辰 男	医療用食品の製造、販売
東洋羽毛首都圏販売株式会社 西 東 京 営 業 所	042-675-8811	晝 間 和 彦	羽毛布団
東京サラヤ㈱八王子営業所	042-660-0521	嶺 岸 隆 仁	食品衛生材料、栄養食品の製造・販売
日 清 医 療 食 品 ㈱ 中 部 支 店	026-269-6700	霍 田 学	給食委託業務、給食材料、濃厚流動食シリーズ
㈱ ジャパンメディカル	055-222-1121	篠 原 幸 生	臨床検査委託、医療、資材販売
㈱ 岩 崎	03-3732-3177	藤 田 一 博	食生活、栄養指導用フードモデル製造、販売
味 の 素 製 菓 株 式 会 社	055-221-8581	小 林 正 人	輸液、医療用食品の研究開発、販売
㈱ ク リ ニ コ	042-590-1506	千 葉 典 子	病態栄養食品の普及、販売促進
東 洋 シ ス テ ム サ イ エ ン ス	045-451-3191	鈴 木 洋	給食・栄養管理及び指導ソフト「カロリーメイク」の開発販売
㈱ オ オ キ	055-273-6644	芦 澤 秀 雄	食品、環境の衛生管理、ソフト、ハードの全般
㈱ ユ ウ シ ス テ ム	055-223-3085	山 口 竹 夫	福祉関係ソフトウエア開発、コンピューター機器販売
明 治 乳 業 株 式 会 社	055-273-7071	志 村 有希子	栄養食品、乳製品製造、販売
ネスレニュートリション株式会社	090-9391-8091	加 藤 靖 敬	栄養食品（アイソカルシリーズ）販売
株 式 会 社 フ タ バ	0256-45-7272	今 井 和 郎	けずり節、だし粉末、その他食材製造・販売
花王カスタマーマーケティング(株)リージョン	03-6703-7556	黒 田 浩 子	花王製品の販売
カルピス株式会社東京支店	03-5722-5211	佐 藤 康 彦	飲料食品の販売
長 谷 川 化 学 工 業 株 式 会 社	047-482-1001	杗 戸 真一郎	まな板・ほうちょうなどの製造販売

社 名	電 話	担 当	業 務 内 容
大 陽 食 品 株 式 会 社	055-224-5415	新 津 齋	業務用総合食材、老人医療用食材卸
東京電力株式会社山梨支店	055-270-2601	河 野 敏 仁	電気事業（業務用電化厨房推進活動）
エ コ ラ ボ 株 式 会 社	03-5285-2653	松 野 泰 明	業務用洗浄剤、殺菌剤の製造・販売
株 式 会 社 セ ン だ い	055-262-1170	伊 藤 孝	納豆の製造販売
グリコ乳業株式会社関東支店	042-522-8588	品 川 明 治	牛乳、乳製品等の製造・販売
カゴメ株式会社東京支社	03-3861-7011	原 野 樹 里	食品・飲料製造販売
伊 那 食 品 工 業 株 式 会 社	0265-78-1121	向 山 慎太郎	寒天・介護食用寒天製品・家庭用食料品（デザート等）の製造・販売
トオカツフーズ株式会社	045-564-5741	森 田 道 昌	弁当・おにぎり・サンドイッチ・惣菜・麺類などの調理済食品の販売および冷凍弁当、冷凍惣菜などの製造・販売・宅配
株式会社日本食生活改善指導会 東 京 本 部 関 東 事 業 所	042-730-8323	豊 澤 範 衡	無水鍋など調理器具の PR
㈱ 保 健 教 育 セ ン タ ー	03-3459-0388	井 田 章 子	特定保健指導事業・各種健康セミナー等事業
株 式 会 社 フ ァ ン デ リ ー	03-5249-5080	種 田 聖	栄養士による食事の宅配・栄養相談、医療食の通信販売、栄養士のポータルサイト運営など
旭化成ファーマ株式会社	025-255-1788	石 関 安 宏	医療用医薬品の製造、販売、ヘルスケア製品、流動食の製造、販売
株 式 会 社 お ぎ そ	0572-59-8639	塚 本 北 斗	学校・保育園・病院・福祉施設の給食用食器、リサイクル強化磁器食器の製造販売。破損した強化磁器食器の回収・リサイクル等環境に配慮した事業活動
丸大食品㈱中部特販営業課	054-623-8617	杉 本 典 昭	ハム、ウインナー、惣菜の製造・販売
㈱サンプルネット健康事業本部	03-5978-1953	岡 田 守 正	食品の販売（飴、ゼリー、特定保健用食品など）
株 式 会 社 コ ー ゲ ヅ	055-274-5701	加 藤 良	冷凍調理品、チルド品、デザート類、食材関連品の卸販売ならびに物資流通業務
生活協同組合パルシステム山梨	055-243-6327	原 田 芳 江	生鮮食料品、一般食品、家庭用品、衣料品を直接またはカタログを使用して生協組合員に供給する事業

◆◇◆◇◆◇◆◇ おしらせ ◆◇◆◇◆◇◆◇

☆連盟会費の納入先が変わります

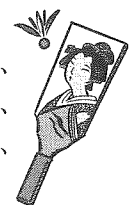
栄養士会会費と連盟会費の納入を区分する事になりました。詳細につきましては同封されております黄色の「お知らせ」を参考にしてください。

☆事務局の年末・年始について

平成 22 年 12 月 29 日（水）～平成 23 年 1 月 3 日（月）まで休みます。

◎編集委員

田草川憲男、石坂恵子、堀口一美、窪寺ゆかり、杵川洋子、塚原順子、天野江津子、小澤與志美、吉原京子、石井静恵



編 集 後 記

寅年もあっという間に終り、新年は兎のように耳を長くに最新情報を収集していきたいと思います。暮の忙しい時にもかかわらず、原稿にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。今年もよろしく
編集委員一同

栄養やまなし No. 92 平成 23 年 1 月 1 日

発 行 所 社団法人山梨県栄養士会

〒400-0031 甲府市丸の内1-10-5

T E L 055-222-8593 (FAX 可)

055-222-8140

ホームページアドレス <http://www.eiyouyamanashi.com/>

メールアドレス yamaei@eps4.comlink.ne.jp

印 刷 所 ㈲オズプリンティング

